

八女市観光 ガイドブック

茶のくにを旅しよう。

福岡県八女市

情緒あふれる八女・福島の町並みを歩いてみよう!

八女福島の白壁の町並み【国選定重要伝統的建造物群保存地区】

八女福島の町家は土蔵造りが多く、商家的な色彩と職人の工場的な色彩を併せ持った、江戸、明治、大正、昭和初期の伝統様式の150軒ほどの建物が旧往還道沿いに連なっています。

凡例

- 町家(旧家)
- 恵比寿さん
- 伝統的建造物群保存地区
- コンビニエンスストア
- 古い町並みが残る通り
旧往還道



恵比寿さん

商人、職人のまちとして栄えた福島。まちなかにはいろいろな表情の恵比寿さんが祀られています。

土橋市場

全国でも珍しい神社の境内にある飲み屋街。足を踏み入ると、昭和レトロな雰囲気の中に雑貨店など新しいお店も並ぶディープな人気のスポット。

トンネル藤

昭和60年に廃線になった旧国鉄(現JR)矢部線。線路跡地に架かる全長510mの藤棚には、その線路のレールが使われており、トンネル藤の愛称で親しまれています。

観光案内人の会



黒木の古い町並み

【国選定重要伝統的建造物群保存地区】

黒木地区は明治期以降の重厚な町家や蔵が旧往還道沿いに残り、矢部川の堰や木橋、町中を流れる水路、矢部川対岸の棚田や石積みなどの水利にまつわる文化遺産が、我が国にとって価値が高いと評価されました。



福島八幡宮

「成功、勝利」の神様を祀る神社です。9月の秋分の日を含む3日間は国指定重要無形文化財「八女福島の燈籠人形」公演が有名です。神職と巫女さんが元気に明るく迎えてくれます。

問 ☎0943-22-3332(9:00~17:00)



料 有料(ガイド1名につき1時間1,000円)
※安全管理上、ガイド1名につき5名様までのご案内とさせていただきます

申 1週間前まで

問 ☎0943-22-3131(八女伝統工芸館)

受け継がれる伝統工芸。 八女は“職人”のまち

八女福島仏壇

職人技が集結した総合芸術

〔国指定伝統的工芸品〕



文政4年(1821)に仏壇づくりが始まりました。漆塗りと金箔を施した格調高い仏壇は、伝統技法が光ります。



今は金具の技術を使ったアクセサリーや、蒔絵の技術を使ったインテリア商品なども作られています。

八女手すき和紙

芸術家が愛した和紙

〔県指定特産民芸品〕



九州地方特有の長い繊維を持った楮を用いるために、強靱で優美な和紙が出来上がります。八女の和紙は版画家の棟方志功をはじめ、多くの芸術家に愛されました。



八女手すき和紙は、表具紙のほか、障子紙や一閑張など様々な用途に使えます。最近では、イヤリングやブローチなどのアクセサリーも人気です。

八女石灯ろう

素朴かつ気品あふれる造形

〔県指定特産民芸品〕



使う石材は、「阿蘇溶結凝灰岩」です。熱さや寒さに強く、石苔が付きやすく、軟らかくて趣のある造形が可能という特徴があります。その石質と匠の技が創り出す造形には気品さえ漂います。



自然と素朴な風合いの石質を活かした玄関や室内に飾れるあかりです。他にも、縁起物のフクロウやカエルなど、いろんな作品づくりが試みられています。



八女手すき和紙を使い、花鳥や山水などを描いた涼み提灯として名声を博しました。大正時代以降は優雅で気品溢れる八女提灯独特の盆提灯が主流となっています。



インテリアのあかりなど伝統技術を活かした新しい商品開発も進められています。

〔国指定伝統的工芸品〕

八女提灯

お盆を照らす伝統のあかり



八女和こま〔県指定特産民芸品〕

昔から子どものおもちゃとして親しまれてきたこま。「福が回る」「金回りがよくなる」ともいい、縁起物としても人気があります。



節句人形

八女のひな人形は「箱びな」が有名ですが、五月人形・破魔弓・羽子板など節句人形も作られています。



線香

水車の動力を活かして作られる杉粉を使った線香は、自然な香りが人気です。



桶

地元産の木材から生み出される伝統の手づくり桶は、修理を繰り返しながら20～30年もの長い間、大切に使われます。



八女竹細工(八女)

八女は良質の竹の産地で、それを使って丈夫で長持ちする竹細工を作ること知られています。お茶摘みで使うテボ(カゴ)も作られ、生活のなかで息づいています。



久留米絣

〔国指定伝統的工芸品〕
〔国指定重要無形文化財〕

藍染め手織りと染料機械織りがあり、機械で織られる久留米絣は、濃紺だけではなく赤や黄・緑色などの様々な色合いのものがあります。



八女の焼き物

星野焼をはじめ多くの窯元が特色ある作品を焼いています。



星野焼(星野)

江戸時代に久留米藩の御用窯として隆盛した星野焼。現在では星野を代表する美術工芸として高く評価されています。



鑑月焼 御前窯(矢部)

陶工 淵之上伸一氏は杉の里に灯った御前窯の火を育てていく覚悟の新進気鋭の陶工です。



男ノ子焼(立花)

男ノ子焼は約400年前、柳河藩主立花宗茂が朝鮮半島より連れ帰った陶工によって始められ、以後80年間、柳河藩主の御用窯として栄えました。

八女伝統工芸館

拡大マップ①



八女福島仏壇「宮殿造り」部門

≡ 匠の技の実演 ≡

八女福島仏壇の「宮殿」や「彫刻」の工程、八女提灯絵付け、八女竹細工などの製造過程を見ていただける実演コーナーを設けております。



≡ 手しごと体験 ≡

併設の八女手すき和紙資料館ではスタッフの指導のもと、実際の道具を使って、本格的な手すき和紙体験ができます。

詳しくはこちらで!



職人と工房

九州の大豪族、筑紫君

磐井の足跡をたどる。

彼の人は反逆者か、それとも郷土の英雄か

筑紫君磐井とは

八女の地に存在する巨大な前方後円墳の岩戸山古墳。これは、古代の北部九州に多大な影響力を持っていた大豪族、筑紫君磐井の墓とされています。八女を拠点として活躍した磐井とはどのような人物だったのでしょうか？

古事記や日本書紀に磐井は「天皇の命令に従わない悪者」として記されています。本当にそうなのでしょうか。ヤマト王権は度重なる朝鮮半島進出のための負担を九州の豪族に強要しつづけた。

乱に加わった「火」の国(現在の熊本県)、「豊」の国(現在の大分県)も同じ思いだったのでしょうか。出兵により疲れ荒れ果てていく地元の人々や土地を見て、我慢の限界が来たのでしょうか。ついに磐井は九州の諸豪族と共にヤマト王権に対し反旗をひるがえすと記されています。

自国の荒廃ぶりを目の当たりにし、磐井は何を成そうとしたのでしょうか。ヤマト王権から見れば「命令に従わない悪者」に映ったのだと思いますが、八女の地を守り、九州を守ろうとした磐井は、やはり郷土の英雄だったのではないのでしょうか。

歴史と文化の交流施設 八女市岩戸山歴史文化交流館 いわいの郷 **マップB-3**



八女市岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷」は、岩戸山古墳をはじめ八女古墳群から出土した資料を展示するとともに、各種体験事業やイベント等の情報発信を通じて、世代や地域を超えた交流と郷土愛が育まれる施設を目指しています。

☎0943-24-3200



歴史交流ステーション



社会見学



古代体験講座・歴史講座



ヤマトの大王の墓に匹敵!? 北部九州最大の古墳

岩戸山古墳【国指定史跡】 **マップB-3**

6世紀前半頃の北部九州を代表する豪族であった筑紫君磐井の墓といわれ、多くの石製品、埴輪が出土しています。北部九州最大の前方後円墳で墳丘長は約135m、後円部径約72m、前方部幅は約92mあります。古墳の北東に43m四方の広場状の「別区」がありますが、これ程大きな区画が現存しているのは全国でもここだけです。



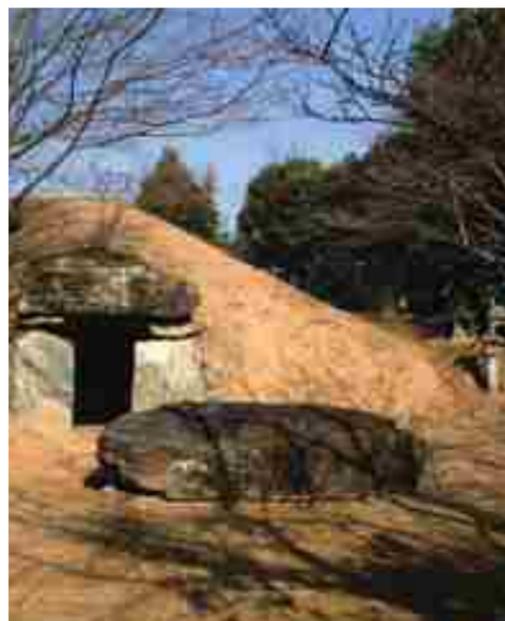
石人・石馬

阿蘇山の噴火により形成された凝灰岩で作られているもので武装した兵士や馬・盾・鞆(ゆぎ)などのリアルな造形が見事です。



常設展示

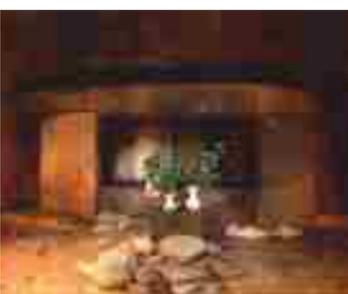
西暦527年に勃発した磐井の乱と、九州の盟主として戦いを率いた郷土の英雄「筑紫君磐井」にスポットを当て、古代八女の新たな「発見」を誘います。



巨石の謎!? 筑紫君一族最後の古墳

童男山古墳【県指定史跡】 **マップD-3**

直径約48mもある巨大な円墳「童男山古墳」。身の丈よりもはるかに大きな巨石を組み上げた巨大な横穴式石室は、福岡県下で3番目の大きさを誇っています。内部には、熊本県・チブサン古墳や広川町・弘化谷古墳と同じ立派な石屋形(石棺を囲む屋根付の施設)があり、中には大型の石棺がおさめられています。まさしく、筑紫君一族の王の墓にふさわしい内容となっており、非常に大きな労働力を動員できる人物のなせる技です。



石室内の石屋形・石棺全てに赤色顔料(ベンガラ)が塗られています。これは悪霊から被葬者を守るためのもの。「赤」という色に古代の人は強い力があると信じていたようです。

八女で花開いた色鮮やかな装飾古墳の文化

乗場古墳【国指定史跡】

乗場古墳は、岩戸山古墳の東約300mに位置します。後円部の横穴式石室、大きな石材を用いた奥壁・側壁などに、赤・黄・青の三色による連続三角文・同心円文・蕨手文が描かれています。6世紀中ごろの築造と推定されます。



丸山塚古墳【国指定史跡】

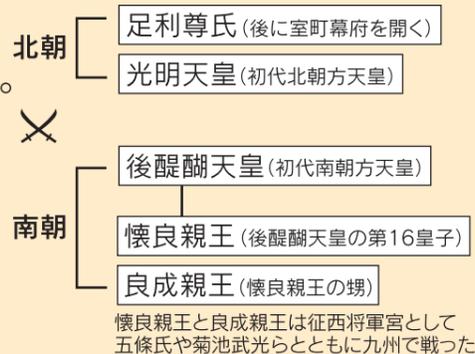
丸山塚古墳の横穴式石室は、壁の下部に大きな石材を用い、上部は平たい石材をドーム状に積み上げています。奥壁や袖石に赤・黄・緑の三色による三角文・円文・蕨手文が描かれています。6世紀後半の築造と推定されます。



南北朝時代…そのクライマックスは八女の地が舞台。

南北朝時代…それは、 朝廷が南朝と北朝に袂を分かった特異な時代。

鎌倉幕府が倒れ、後醍醐天皇がいた建武の新政も、足利尊氏らの離反により終わりを告げます。吉野に逃れた後醍醐天皇の南朝と、足利尊氏が京都に光明天皇を擁立した北朝に分かれ、正統を争う南北朝時代が約60年間続きました。その終わりの頃、北部九州は壮絶な戦いの舞台となりました。奥八女には征西将軍宮・懐良親王や南朝最後の親王である後征西将軍宮・良成親王の墓ほか、ゆかりの地が数多く残されています。



征西府の最盛期の親王・懐良親王ゆかりの地



大円寺[星野村資料館]【市指定史跡】 マップF-2

太宰府観世音寺の末寺として創建された由緒あるお寺でこの資料館には、第96代後醍醐天皇の皇子懐良親王ゆかりの資料を展示しています。



懐良親王墓所 マップF-2

正平14年(1359)九州をほぼ統率した懐良親王。天授3年(1377)星野村の大円寺に入り、九州にある南朝方を率いましたが、弘和3年(1383)、55歳で薨去されました。亡骸は、空谷山(大明神山)に葬られました。

懐良親王を支え続けた八女の武将たち



鷹取城跡(星野)

星野氏
星野氏は、南朝・懐良親王の力強い味方であり、親王は深い傷を負ったときも星野へ逃れて静養しました。星野氏は耳納連山に鷹取城という山城を築き、星野谷全域に勢力を誇りました。



猫尾城跡(黒木)

黒木氏
黒木氏は、南北朝時代に懐良・良成親王へ忠誠を尽くしましたが、黒木氏の居城・猫尾城は北朝方にたびたび攻められ激しい戦いの場となりました。頂上の本丸入口には今も石垣が残されています。



木屋行實の墓(黒木)

木屋行實
木屋行實は、黒木氏とともに郷土の若者を率いて戦い、懐良親王を支えました。黒木の木屋氏邸の小高い段上に墓があります。「木屋文書」は戦の様子が描かれた貴重な史料です。

南朝最後の親王・良成親王の眠る地



良成親王御墓

後征西将軍宮 良成親王墓。明治11年(1878)に現在の宮内庁が墓に認定し、代々、五條家の子孫が守部に任命され守られています。



大杉公園祭

毎年、良成親王命日の10月8日に執り行われ、約600年前から続く由緒ある祭り。この地で没した親王の御霊を慰め、墓前で公卿唄や浦安の舞が奉納されます。

浦安の舞

昭和15年に皇紀2600年を記念し作られた神楽舞。「うら」は心を指す古語で、「うらやす」で心中の平穏を表し、「波立たぬ世」を願い巫女たちによって奉納されます。

五條家に伝わる南北朝時代ゆかりの遺品



五條家文書(全17巻) マップF-5

【国指定重要文化財】
明治時代、旧家の古文書調査で調査官が驚いたという第一級の史料。南北朝当時の重要な巻に始まり、菊池家・阿蘇家・大友家・加藤清正などに関わる文書が含まれます。



八幡大菩薩旗(金烏の御旗)

戦の先陣で掲げられていた御旗。金烏は太陽を表す。4人の皇子に与えられたといわれ、五條家のみに現存します。

後醍醐天皇綸旨

【国指定重要文化財】
後醍醐天皇が亡くなる前日に側近によって書かれた命令書で、遺言書ともなった絶筆です。当時、密書は襟に縫い込むなどして運ばれましたが、これはまげの元結として運ばれたもの。約9センチ四方の小さなもので、御旗祭ではこちらも一般公開されます。



五條頼元着用の鎧兜

槍で突かれた穴、切れた糸など戦の痕が生々しい。



良成親王着用の具足



襖絵

明治時代に描かれた「大保原の戦い」の一幕。親王のご尊顔が松の枝で隠されていたり、菊池武光が川で刀を洗う姿など多くの逸話が盛り込まれています。

南北朝時代ゆかりのスポット



懐良親王お手植えのイチヨウ マップF-3

南北朝の攻防がクライマックスを迎えたころ、今川了俊から追われ敗走した親王は高山山へ。傷を負った親王は、さらに奥地へ入り、星野の「小野神社」に御在所を構えました。そびえる大イチヨウは懐良親王お手植えと伝えられます。



良成親王お手植えのフジ(黒木のフジ) 孤大マップ④

奥八女でゆかりの地を歩くなら、国指定天然記念物「黒木のフジ」は必見です。良成親王お手植えと伝えられており、境内を覆う花房は壮観で、多くの観光客が訪れます。

八女に残る南北朝時代ゆかりの地名



ないくろ
内宮(星野村)
小野神社付近には、親王の在所を示す「内宮」(ないくろ)という親王ゆかりの地名が残っています。



おそば
御側(矢部村)
この墓所に向かい道沿いの集落は「御側」と呼ばれ、親王お付きの人々が住んだことにちなみます。

詳しくはこちらで!





谷川梅林 マップD-4

九州有数の梅の産地、立花町。約80ヘクタールの広大な丘の斜面に約3万本の白梅が咲き誇る『谷川梅林』には、毎年多くの人々が観梅を訪れます。



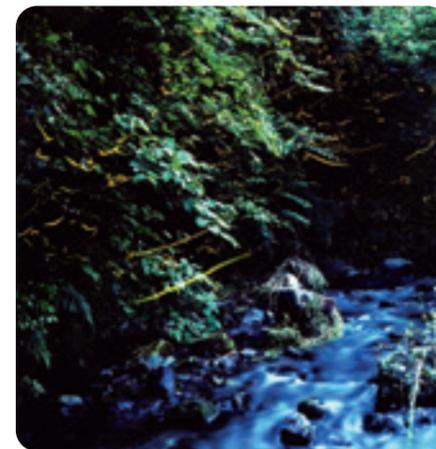
ミヤシノシャクナゲ園 マップH-4

山の斜面に筑紫しゃくなげや西洋しゃくなげが約一万本咲き乱れる人気のスポット。シャクナゲに囲まれる遊歩道はのんびりとした雰囲気。



黒木の大藤 拡大マップ④

黒木の大藤がある素盞鳴神社には、約3,000㎡もの広大な藤棚が広がっており、毎年4月中旬ごろに開花し、1mを超える紫色の花房を垂下させます。



ホタル

初夏の夜空を美しく彩るほたる。美しい自然が残る上陽町地区には多くのほたるが舞い飛び、私たちの目を楽しませてくれます。



御前岳・釈迦岳 マップI-5・J-5

早くから登山道が整備され県外からの登山者も多い釈迦岳は、山頂からの展望が大変すばらしく、御前岳は釈迦岳との縦走コースとしても有名です。



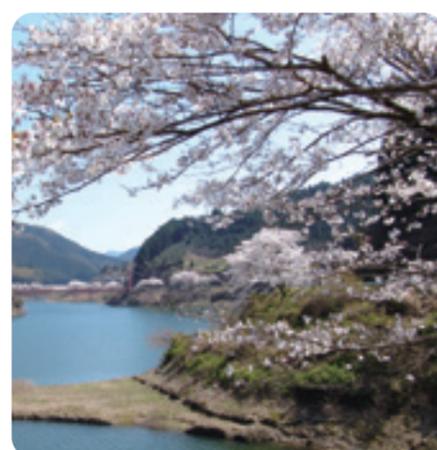
八女中央大茶園 マップD-3

茶どころ八女を代表する大茶園は、まるで見渡す限り緑のじゅうたんが敷かれたよう。八女市街や晴れた日には有明海まで望むことができます。



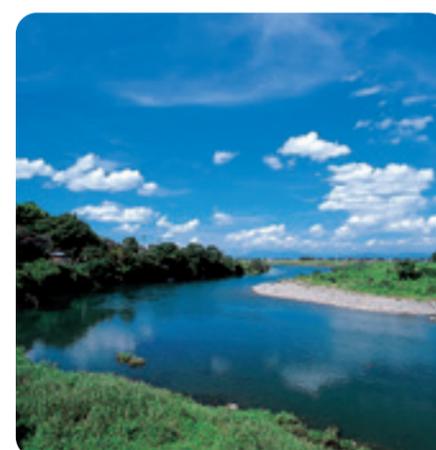
八女津媛神社の紅葉 マップH-6

もみじの紅葉が美しい頃(11月上旬)八女津媛神社境内及び八女津媛浮立館前、神ノ窟地区の氏子たちにより、「もみじ祭り」が行われます。



日向神ダムの千本桜 マップG-5

奇岩群と湖の景観が美しい日向神ダム湖。湖畔に咲く桜は「千本桜」と呼ばれ、花見の名所として知られています。



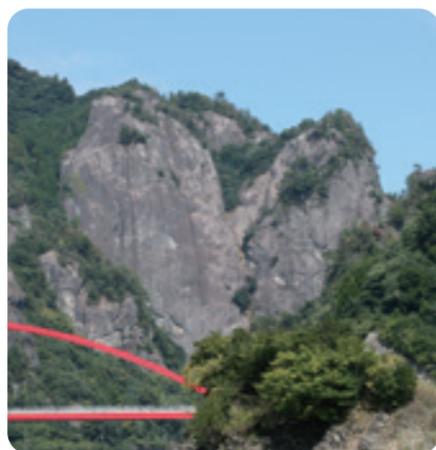
矢部川

矢部村を源流に、八女をゆったり流れくぐる矢部川。河川敷には遊歩道が整備されており、春には土手いっぱい黄色く咲き揃う菜の花が楽しめます。



星野村の星空 拡大マップ②

九州最大級の口径100cmの望遠鏡を備えた「星の文化館」。晴れていれば昼間でも強い光を放つペガなどを見ることができます。



ハート岩 マップH-5

日向の神々がその美しさに惹かれてやって来たという伝説が残る日向神峡には、パワースポットにもなっている日本一大きなハート形の岩があります。



鹿里の棚田 マップF-2

星野村を代表する景観のひとつに棚田があります。この棚田が醸し出す風景は、四季を通じて本当に美しいものがあります。



桜と石橋 拡大マップ③

星野川沿い、山の自然をそのまま生かした北川内公園は、600本ものソメイヨシノが咲き誇る桜の名所として知られています。



詳しくはこちらで!



八女の花ごよみ

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月



ホームページをチェック!!

<https://yame.travel/>

八女の自然と文化を感じて歩こう!

九州オルレ八女コース

オルレとは

「オルレ」は韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州島の方言で「通りから家に通じる狭い路地」という意味。自然豊かな済州島でトレッキングする人が徐々に増え、「オルレ」はトレッキングコースの総称として呼ばれるようになり、今では韓国トレッキングの中心的コースになっています。「オルレ」の魅力は、海岸や山などを五感で感じ、自分のペースでゆっくり楽しむところにあります。



山の井公園

清流星野川の流れや春には桜など自然に囲まれた公園。少し上流の「山の井堰」の人柱になった中島内蔵助の偉業を称えた記念碑があります。



童男山古墳

6世紀後半に築造された大型円墳で、石室の長さは18mもある横穴式石室。



犬尾城址周辺

このあたりは自然遊歩道であり、落ち葉を踏みしめて歩いたり、多数の植物やダイオウマツのマツカサ、キノコなどが観察出来ます。



岩戸山古墳

北部九州最大の前方後円墳で墳丘長は約135m、後円部径約72m、前方部幅は約92m。



丸山塚古墳

6世紀後半に築造された、彩色された装飾を持つ国指定史跡の大型円墳。春には古墳の周囲に美しい桜が咲き誇ります。



八女中央大茶園

見渡す限り一面に茶畑が広がり、展望所からは八女が一望でき、晴れた日には有明海や島原半島を望むことが出来ます。

オルレの歩き方



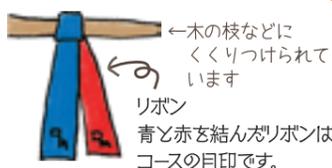
進行方向→

カンセ(馬のオブラ)馬の頭が進行方向になります。



←逆方向 正方向→

木製の矢印
青の矢印は正方向、赤の矢印は逆方向です。「人」が通る道という意味が込められています



←木の枝などにくくりつけられています
リボン
青と赤を結んだリボンはコースの目印です。

九州オルレ八女コースガイド

九州オルレ八女コース専門のガイドが皆さまをご案内します♪

地元を良く知っている九州オルレ八女コースガイドと一緒に八女コースを楽しく歩きませんか。

「団体でオルレコースを歩くので、ぜひガイドをお願いしたい」「オルレは初めてなので自分たちだけで歩くのは少し心配…」とお思の方はぜひガイドをご利用ください。

●ガイドの人数とガイド料金

お客様の人数	ガイドの人数	ガイド料金
2名~10名	1名	5,000円
11名~20名	2名	10,000円
21名~	3名~	15,000円~

※所要時間に関係なく、ガイド1回の料金です。

●申込み方法

右記のリンクより申込み用紙をダウンロードして印刷し、必要事項を記入の上一週間前までにFAXやメールでお申し込みください。

詳しくはこちら!



申込み・問合せ先

〒834-0031福岡県八女市本町2-129
八女市観光振興課
TEL:0943-23-1192
FAX:0943-22-7311
mail:kanko@city.yame.lg.jp

森林セラピー®

森林セラピーとは

森の効能を医学的なエビデンス(証拠)に裏付けすることによって、森林環境を利用した『心』と『身体』の健康に活かそうという取組が「森林セラピー®」なのです。いわば、一歩進んだ森林浴なのです。

黒木町の森林セラピー®基地紹介

黒木町は、平成20年4月に第3期の森林セラピー®基地の認定を受けました。これは、全国では25番目、福岡県ではうきは市とともに初めての認定でした。標高約400m、約300haの敷地内には大小9つの湖があり、静かな湖面が周囲の森に溶け込んでいて、森林療法を進めるには最適な環境です。特に、1999年にオープンした温泉館では、温泉でゆっくりと心身ともにリフレッシュできます。

森林セラピー®基地ガイドマップ



森の案内人

本基地では、「森の案内人」が一緒に森を散策します。森の案内人は、森の楽しみ方を提供するとともに、森の持つ癒しの効果を最大限に感じてもらうためのお手伝いをします。

3つのセラピーロード

どんぐり拾いの小道

ホテルを出発地とするロードで、駐車場の周囲にある桜や紫陽花が来訪者を出迎えます。ゆったりと小山を越えるロードとして気軽に散策できます。また、ロード途中の展望所では、雄岳・雌岳を見渡すことができます。
距離:1,770m、標高:417~481m

泉と小島への散歩道

ホテルを出発してコテージ群の横を通り、善蔵池を目指すロードです。池に沿った小道から橋で結ばれた小島からは、四季折々の木立と水の対比が美しく、回遊式庭園にも似た景観を生み出しています。
距離:1,830m、標高:420~464m

熊笹と湖の小道

セラピー広場から善蔵池を周回するロードです。ロードは高低が少なく、湖の地形に沿って左右に視界が変化し、遠景の山々を望むことができます。また、途中の堤防からは県内最高峰の釈迦岳を一望できます。
距離:2,260m、標高:433~441m

申込・お問い合わせ

森林セラピー基地つくりの森グリーンピア八女

住 八女市黒木町木屋10905 ☎0943-42-2400

休 年中無休

詳しくはこちら!



八女の山を気軽に楽しもう!

大分県・熊本県と境を接する八女市は、福岡県の「山どころ」です。400m台の里山から1200mを超える県内最高峰まで、さまざまな山に囲まれています。



釈迦岳/御前岳

初級 中級 上級

釈迦岳は福岡県の最高峰の山

県外からの登山者も多い釈迦岳は、山頂からの展望が大変素晴らしい。動植物の宝庫でもあり、7月下旬~8月上旬にはオオキツネノカミソリの群生を見ることが出来る。

詳しくはこちら!



八女市の 厳選 パワースポット



飛形山 マップC-6

古くから山岳信仰の場として親しまれてきた飛形山。三角点に設置されたテッキからの眺望は最高!



ハート岩 マップH-5

日向の神々の伝説が残る日向神峡にある恋愛成就祈願のパワースポット。ハート岩を望む「けほぎ橋」にある「幸せの鐘」を鳴らせば、あなたも恋愛成就!?



納又滝 マップF-1

滝のそばに祀られた「滝の宮不動尊」は縁結びの神様として有名。滝の周囲は、樹齢数百年の原生林が生い茂り、神秘的な雰囲気漂います。



八女中央大茶園 マップD-3

見渡す限りの茶畑! 茶のくに八女を象徴する風景で、高台にある展望所からは晴れた日には八女市街や遠く有明海まで望むことができます。



松尾弁財天 マップC-7

約600年前、この地を治めていた辺春氏には子がなかったため弁財天に祈願したところ、お告げにより一子を授かったことから弁財天を祀ったと伝わっています。子宝祈願、五穀豊穡祈願の由緒ある神社として信仰されています。



八女津媛神社 マップH-6

日本書紀に出てくる「山中に女神あり、その名を八女津媛といい、常に山中にいる」の一節が「八女」の地名の起り。その女神をまつ八女津媛神社は、樹齢600余年の権現杉や神の窟(かみのいわや)など神秘的な空気に包まれています。



麻生池 拡大マップ②

遠く弥生文化の時代にはじまったとされる水神崇拝により、麻生池は霊地として古くから信仰を集めてきました。また、5月から10月にかけては、県の天然記念物であり絶滅危類にもなっているスイレン科の多年草「オグラコウホネ」も花を付けます。



岩戸山古墳 マップB-3

6世紀前半に北部九州を支配していた筑紫君磐井の墓とされる九州最大級の前方後円墳。静かにたたずむ古墳の前に立ち、古代のロマンに想いを馳せてみては。



霊巖寺の奇岩群 マップG-3

八女茶発祥の地である「霊巖寺」。ここは、700余年前より修験者の修行の場となった座禅岩をはじめ、多くの奇岩がそびえたつ霊地。縁結びの神、安産の神として祈願されています。



けほぎ岩 マップH-5

日向の神が天馬に乗ってこの地を訪れた際、その天馬のひづめがあたり岩に穴が開いたと伝わる「けほぎ岩」。日向神峡にはこれ以外にも巨岩・奇岩が連なり、山水画のような景観が楽しめます。



室山熊野神社 マップG-2

山伏の修行場として聖地であったといわれています。33段の石段の先には奇岩・巨岩に囲まれたなかに推定樹齢500年以上のご神木に守られた本殿があり、静まり返ったその場所はまさに聖地の雰囲気が漂います。

旅する茶のくに八女・奥八女

茶のくに
旅する
バスツアー

久留米発着
バスツアー



旅する
茶のくに
週間



着地型体験
プログラム



ホームページ <https://yame.travel/>

詳しくは
こちらで!



問合せ先

TEL 0943-22-6644

茶のくに観光案内所 (FM八女観光事業部)
福岡県知事登録旅行業第3-772号



八女でしか味わえない 美味しいものをどうぞ!



八女茶
『色よし、味よし、香りよし』の銘茶として全国的に評価の高い八女茶。伝統ある優れた技術により生産され、全国茶品評会等においても常に上位に入賞し、高級茶として名声を博しています。



八女伝統本玉露
110年の伝統や質の良さ、品評会で長年日本一に輝く実績が認められ、国の地理的表示保護制度(GI)に登録されました。



八女茶スイーツ
市内には、八女茶を使った様々な和・洋菓子が楽しめるお店があります。お気に入りのスイーツを探してみてください。



しずく茶
伝統本玉露の甘くまろやかな味わいを、ほんのひとしずくに凝縮しました。ふたをしたままのお茶碗を傾け、そこからこぼれ落ちてくる一滴を舌の上に転がす。玉露の旨みを余すところなく引き出す飲み方、それがしずく茶です。



日本酒
矢部山系の清らかな水を使った芳醇な味わいの八女の日本酒です。



ワイン
立花町特産のキウイフルーツを原料としたワインが大人気です。その他にもあまおうや梅、みかんなどのワインもあります。



まんじゅう
里芋やじゃがいもを丸ごと生地で包んだ芋まんじゅうや、よもぎを生地に練りこんだよもぎまんじゅうなど、風味豊かで素朴な味わいが評判です。



ソマリアンカレー
味の決め手は、特産の椎茸。地元で採れる野菜をたっぷり使った名物のカレーです。



だご汁
安全・安心の八女の食材にこだわった八女名物のだご汁です。



クラフトビール
八女地方の豊かな自然の恵みに育まれた八女の味が生きる自慢のブルーワリーシリーズです。仕込み水は、矢部村の天然水を使用しており、べんがら村内のビール工房で製造しています。



まんどきそば
古くから大仙公園祭において毎年振る舞われていた「將軍そば」という伝統食。その味を再現しました。

旬のフルーツ
気候と豊かな土壌に恵まれた八女市では、一年をとおして旬な野菜やフルーツが味わえます。



ここで買える!八女のお土産

八女観光物産館「ときめき」 拡大マップ①



八女茶や地酒、銘菓など八女市の特産品を豊富に揃え販売しています。抹茶ソフトクリームも人気です。
住 八女市本町2-129 ☎0943-22-7730
営 9:30~17:00
ソフトクリーム(OS16:00)
休 月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始

道の駅たちばな マップD-5



「直売所甲子園2011」で最優秀賞の農林水産大臣賞に選ばれました。立花町の旬の特産品や加工品が揃っています。
住 八女市立花町下迎春315-1 ☎0943-37-1711
営 9:00~18:00 休 第2水曜日、年末年始

立花ワイン工場 マップD-4



立花町特産のキウイフルーツ・あまおう・梅・みかん・いちじくワイン等も製造しています。工場見学や隣接する「夢たちばな館」で試飲もできます。
住 八女市立花町兼松726 ☎0943-37-1081
営 8:30~17:00 休 火曜日、年末年始 料 無料

茶彩館 拡大マップ③



特産品であるお茶や椎茸、旬の青果をはじめ、各地の名産品を販売しています。粉茶ソフトクリーム、羊羹などお茶を使ったオリジナル商品が人気を呼んでいます。
住 八女市上陽町北川内589-2 ☎0943-54-2150
営 10:00~18:00 休 水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

おばしゃんの店 清流 拡大マップ②



星野村の元気なおばちゃんたちが心を込めて手作りした加工品やお弁当、おやつ、野菜、お茶などを販売しています。
住 八女市星野村10890 ☎0943-52-3232
営 10:00~17:00 休 12月中旬~2月上旬は休み

星野村農産物直売所 びそん マップG-3



星野村で採れた新鮮な野菜、おばちゃんたちの愛情がいっぱい詰まった手作り加工品、品質日本一を誇る玉露など美味しいものをたくさん準備しています。
住 八女市星野村9783-1 ☎0943-52-9030
営 10:00~17:00(冬季は午後4時まで)
休 火曜日(祝日は営業)、年末年始

特産物直売所 出逢 マップH-5



名物はよもぎ饅頭です。よもぎの色が鮮やかで初めて見る人は驚くはず。皮の塩加減と餡の甘さが絶妙の一品です。
住 八女市矢部村矢部542-2 ☎0943-47-2188
営 8:00~18:00
休 火曜日、水曜日、木曜日

矢部地区観光物産施設「木のさと」



駐車場やトイレを備えた休憩・交流施設。地域の特産品を使ったレストランや、特産品の販売スペース、イベントスペース、観光情報提供スペースもあります。
住 八女市矢部村矢部3277-1 ☎0943-47-2500
営 9:00~17:30 ※飲食スペースのみ11:00~16:00
休 第2・第4水曜日、年末年始
※シーズンにより変更の場合あり



福岡市渡辺通りの八女市のアンテナショップ

アンテナショップ 八女本舗
ここでは、毎日届く新鮮な野菜など自慢の逸品をそろえています。また、観光パンフレットや各種イベントなど、八女の様々な情報を発信しています。

住 福岡市中央区渡辺通5丁目23番8号サンライズビル1F ☎092-725-0161
営 10:00~18:30 休 日曜日、年末年始



八女でとっておきの思い出を作ろう!

べんがら村 マップC-4



レストラン サウナ 気泡風呂
令和4年4月にリニューアルオープンしました。露天風呂付きの天然温泉には、サウナ室に自動口ウリュウが備えられましたので“ととのう”をぜひ体感してください。レストラン、カフェ、セレクトショップなどもあり1日中楽しめる施設となっています。
住 八女市宮野100 ☎0943-24-3339
営 温泉 10:00~22:00(受付は21:30まで)
セレクトショップ 10:00~19:30
休 火曜日(一部繁忙期は営業)

堺屋



「堺屋」の屋号で酒造業を営んでいた旧木下家住宅。明治41年建造の豪邸は保存状態が良く、見事な離れや庭園などが見られます。
住 八女市本町184 ☎0943-23-7611
営 10:00~17:00
休 月・年末年始
料 無料(12月28日~1月4日)

八女伝統工芸館



展示スペース 販売スペース
仏壇・提灯・石灯ろうをはじめ、手すき和紙、久留米緋、竹細工など八女を代表する工芸品を展示・販売しております。手すき和紙資料館、民俗資料館併設。
住 八女市本町2-123-2 ☎0943-22-3131
営 9:00~17:00
休 月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始

横町町家交流館 拡大マップ①

江戸時代に建てられた酒屋を整備した施設です。月ごとに変わるギャラリーや八女と関わりのある現代作家の資料室「ふるさと文庫」、酒井田柿右衛門資料室などがあります。
住 八女市本町94 ☎0943-23-4311
営 10:00~17:00
休 月・年末年始(12月28日~1月4日) 料 無料(八女茶カフェのみ有料)

森林セラピー基地 マップE-5



癒しや健康増進を求めて、多くの方が森を訪れ、森林セラピーメニューを提供する森の案内人に導かれて、ゆっくりとした森の時間を体感しています。
住 八女市黒木町木屋10905 ☎0943-42-2400
黒木温泉くつろぎの湯 10:00~21:00
黒木ふるさと市場 8:00~21:00
休 年中無休

八女市大淵体験交流施設 げんき館おぶち マップF-5



廃校となった旧大淵小学校を活用した、宿泊もできる体験交流施設。地域の方々手作りの食事が味わえ、スポーツや勉強の合宿としてもご利用いただけます。
住 八女市黒木町大淵3998 ☎0943-24-8217
休 水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

グリーンパル日向神峡 マップG-5



「知・休・遊」をコンセプトにしたグリーンパル日向神峡は、日向の神々が美しさにひかれ降り立ったという伝説が残る深谷に囲まれたキャンプ場です。
住 八女市黒木町北大淵4410-2 ☎0943-45-1001
営 通年 予約受付 9:00~17:00

学びの館[旧隈本家住宅] 拡大マップ④

旧隈本家住宅を郷土資料館を兼ねた学習の館として保存しています。明治の文芸評論家・石橋忍月文学資料館も併設しており、文学をこよなく愛する人々が多く訪れます。
住 八女市黒木町今1053 ☎0943-42-1982
営 9:00~17:00 休 月曜日、年末年始

まちなみ交流館[旧松木家] 拡大マップ④

平成21年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された黒木地区の中で、表構えを残す「居蔵」の町家を代表する建物です。
住 八女市黒木町黒木80-2 ☎0943-42-0004
営 10:00~17:00
休 月曜日、年末年始

えがいの森 マップG-4



閉校した笠原東小学校を何とか残したいという住民の熱い想いにより、笠原東交流センター「えがいの森」として、都市と農山村をつなぐ、交流の場へと生まれ変わりました。
住 八女市黒木町笠原9528-1 笠原里山振興会 ☎0943-42-4388

八女東部スポーツ公園 グリーンフィールド八女 マップE-5



サッカーやグラウンドゴルフを中心にレクリエーション等に利用できます。
住 八女市黒木町木屋10905 ☎0943-24-1230(要電話)

奥八女焚火の森 キャンプフィールド マップF-3



平成24年九州北部豪雨災害で施設の大半が流出被災したきのこ村キャンプ場が、キャンプを通して木とふれあい木に学び、木でつながる場所「奥八女焚火の森キャンプフィールド」として生まれ変わりました。
住 福岡県八女市黒木町笠原9512番地 ☎0943-42-4305
休 水曜日

男ノ子焼の里 マップB-5



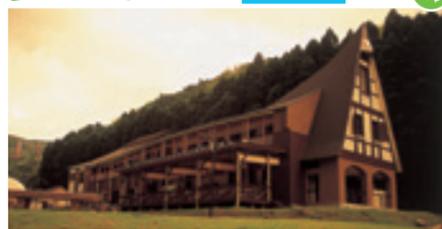
男ノ子焼はかつて柳河藩の御用窯として栄えた焼物。それを300年ぶりに再興し、陶器の展示販売を行っています。
住 八女市立花町北山1965 ☎0943-22-8023
営 10:00~18:00 休 不定休

白城の里旧大内邸 マップC-6



日中友好親善につとめた大内暢三の生家を一般公開し、生涯学習・文化交流・地域振興の施設として活用しています。
住 八女市立花町白木3245 ☎0943-35-0415
休 月曜日(日・祝は営業、翌火曜日休み)

夢たちばなビレッジ マップC-7



一年を通して多彩な自然に出会えます。キャンプやバーベキュー、水辺の遊び、山の幸狩り、農耕体験など立花の自然を体感してください。
住 八女市立花町白木3720 ☎0943-35-0022
営 チェックイン 14:00 チェックアウト 11:00
休 火曜日、年末年始(GW・夏休みは休まず営業)

八女市田崎廣助美術館 マップC-4

八女市出身の洋画家で、文化勲章受章の田崎廣助氏(1898-1984)の功績を称え、設立されました。「日本の美」を追究し、阿蘇山や桜島などを描いた田崎氏の代表作品などを展示しています。
住 八女市立花町原島108-1 ☎0943-24-8304
休 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始 料 観覧無料

ふるさとわらべ館 マップD-2



昭和30年代の懐かしい教室を体感できたり、様々な工作体験ができたりします。子どもと大人がいっしょに遊び、学び、発見し、創造する、楽しさいっぱいの空間です。
住 八女市上陽町下横山4838 ☎0943-54-2442
営 10:00~18:00 休 水曜日(祝日の場合は翌日)

ほたと石橋の館 拡大マップ③



石橋とゲンジボタルをテーマとした施設が「ほたと石橋の館」です。木造建築の落ち着いた館内には、テーマに関する資料展示館などが完備されています。
住 八女市上陽町北川内589-2 ☎0943-54-2150
営 上陽物産販売「茶彩館」 10:00~18:00
休 水曜日(祝日の場合は翌日)

星の文化館 拡大マップ②



口径100センチの九州最大級の反射望遠鏡で天体を身近に感じ、プラネタリウムでは、じっくりと星について学ぶことができます。プチホテルもあり、ご家族連れ、カップルに人気です。
住 八女市星野村10828-1 ☎0943-52-3000
営 月土日祝 10:30~22:00(最終入館 21:30)
水木金 13:00~22:00(最終入館 21:30)
休 火曜日(春・夏休み・年末年始は開館)
料 入館料/大人500円、小学生300円、幼児(4才~6才)100円
プラネタリウム視聴は別途料金

茶の文化館 拡大マップ②



「茶の文化館」では星野ならではの玉露を堪能する、お点前「しずく茶」が味わえます。1階には茶の歴史や製法、日本や世界のお茶に関する展示ホールとライブラリー、抹茶ききうす体験コーナー、食事処が、2階には広間、小間の本格的茶室があります。
住 八女市星野村10816-5 ☎0943-52-3003
営 10:00~17:00 休 火曜日(5月・夏休みは開館)
料 入館無料 各種体験:500円~

池の山キャンプ場 拡大マップ②



麻生池の周囲に広がるキャンプ場です。ロッジには、エアコン・バス・トイレ・キッチンが完備されているので、子ども連れの家族も安心です。
住 八女市星野村10874 ☎0943-52-2082 休 年中無休
料 日帰りデイキャンプお一人200円
宿泊キャンプサイト 1張2,200円(テント貸出し)
バンガロー1棟:8,800円~、ロッジ1棟:13,200円~

星野温泉 池の山荘 拡大マップ②



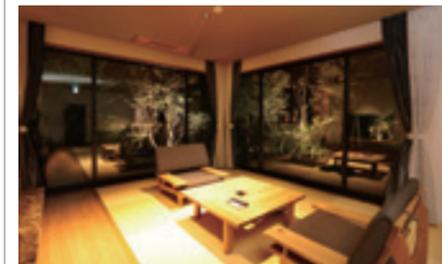
星野村を一望できる星のふるさと公園の一角にある池の山荘。隣接の星の温泉館さらさらでは、棚田や耳納連山を見渡す「みはらしの湯」と緑豊かな樹木に囲まれた「もりの湯」が訪れる人を元気にしてくれます。
住 八女市星野村10870-58 ☎0943-52-2082
休 年中無休

杉のふるさと文化館 マップH-6

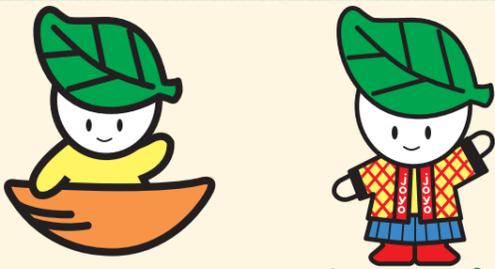


矢部中学校旧校舎を活用。教学の祖江碕清をはじめ教育沿革資料、郷土文化民俗民謡紹介、折々に文化企画展開催。
住 八女市矢部村北矢部11060-1 ☎0943-47-2055
営 9:00~17:00
休 水曜日・12/28~1/4(事前連絡があれば利用可)

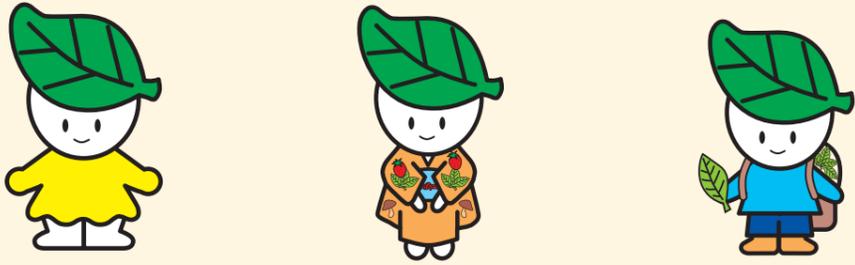
奥八女別邸やべのもり マップH-6



全7棟の客室は趣の異なる平屋造りの離れ宿と。上質で高級感溢れる空間の中で、心ゆくまで優雅なお時間をお過ごしください。お食事は地元で採れた新鮮な食材を使い、みなさまに喜んでいただける美味しい料理をご用意しております。
住 八女市矢部村矢部 3343 ☎0943-22-8030
休 年中無休 料 一泊12,000円~



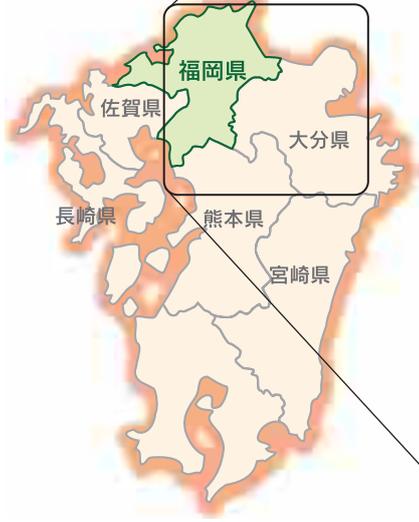
楽しいお祭りやイベントがいっぱいの
八女に遊びに来てね!



八女市歳時記

- 1月1~3日 新春の呈茶(星野・茶の文化館)
- 1月3日 潮井取り・裸ん行(八女・柳島)
- 1月13日 虚空蔵菩薩(上陽・星野・虚空蔵菩薩神社)
- 1月17日 柳島の十七夜・あめがたままつり(八女・若宮神社)
- 1月20日 童男山ふすべ(八女・童男山古墳)
- 2月中旬 道の駅たちばなわくわく誕生祭(立花)
- 2月中旬~下旬 夢たちばな観梅会・立花町農業まつり立花
- 2月中旬~3月中旬 雛の里八女ほんぼりまつり(八女・福島)
- 3月中旬 おひなさま茶会(星野・茶の文化館)
- 3月下旬~4月上旬 やへ春まつり
- 3月下旬~4月上旬 日向神ダム湖畔の千本桜開花(矢部・日向神ダム周辺)
- 3月下旬~4月上旬 桜と石橋まつり(上陽・北川内公園)
- 3月下旬~4月上旬 くろぎふるさと祭り(黒木・城山公園他)
- 4月5日 本田仁(加(黒木・大淵))
- 4月5日 松尾井財天大祭(立花・松尾)
- 4月第1日曜日 八女・桜まつり健康マラソン大会(矢部・八女市矢部第1運動場)
- 4月中旬 藤の花神酒召せの式典(黒木・素盞鳴神社)
- 4月中旬 男子焼の里れんげまつり立花・男ノ子
- 4月中旬~5月上旬 八女黒木大藤まつり(黒木・素盞鳴神社他)
- 4月中旬~5月上旬 シヤクナゲまつり(星野・ミヤシン)
- 4月中旬~5月上旬 シヤクナゲ園・星の花公園
- 4月中旬~5月上旬 シヤクナゲ・ツツジの開花(星野・矢部)
- 4月下旬 長桐鹿藤まつり(立花・鹿伏)
- 4月下旬~5月上旬 矢部村山系山開き(矢部)
- 5月2日 献茶祭(黒木・靈巖寺)
- 5月4~5日 山下水天宮祭(立花・山下)
- 5月5日 山内水天宮祭・花火大会(八女・山内水天宮)
- 5月5日 八女新茶まつり(八女・伝統工芸館)
- 5月上旬 八女上陽新茶まつり(上陽・八女市ほたると石橋の館)
- 5月中旬~9月中旬 オクラコウホネの開花(星野・麻生池)
- 5月下旬 辺春ホタルまつり(立花・長瀬公園周辺)
- 5月下旬~6月上旬 星の新茶・サツキまつり(星野・茶の文化館)
- 6月第1日曜日 ホタルと銘茶まつり(上陽)
- 6月第1日曜日 八女茶山唄日本大会(黒木)
- 6月上旬 田代ホタルまつり(黒木・田代)
- 7月頃 犬山ダムブラックバス釣り大会(黒木・豊岡・犬山ダム)
- 7月上旬 岩崎の子ども川まつり(八女・岩崎)
- 7月第1日曜日 七夕観望会(星野・星の文化館)
- 7月11~15日 祇園祭「こっげけ面」(星野)
- 7月15日 祇園祭(上陽・祇園堂・須賀神社)
- 7月20~22日 祇園祭・黒木納涼花火大会(黒木・矢部川湖畔)
- 7月下旬 七夕茶会(星野・茶の文化館)
- 8月6日 八女市平和折念式典(星野)
- 8月上旬 踊る!きたやま夏祭り(立花・北山)
- 8月14日 大淵献燈祭(黒木・げんき館おおふち)
- 8月16日 万灯流し(上陽・北川内)
- 8月中旬 矢部村花火大会(八女市矢部第1運動場)
- 8月中旬 夏まつりよか祭(星野・池山グラウンド)
- 8月中旬 道の駅たちばなふるさと夏祭り(立花)
- 8月下旬 天神さんともまつり(八女・福島八幡宮)
- 9月2日 八朔祭・花火大会(八女・折橋院神社)
- 9月13日 虚空蔵菩薩祭(上陽・星野・虚空蔵菩薩神社)
- 9月中旬~下旬 八女のまつり「あかりとちやっぼんぼん」(八女)
- 9月中旬~下旬 彼岸花の開花(黒木・大淵・星野・鹿里他)
- 9月下旬 鹿里柵田彼岸花まつり
- 9月秋分の日を含め3日間 国指定重要無形民俗文化財「八女福島の燈籠人形」公演(八女・福島八幡宮)
- 10月第1日曜日 北木屋聖観音提灯願い大祭(黒木・北木屋大仙公園祭 矢部・大仙公園)
- 10月17~19日 土橋八幡宮神幸行事(八女・福島)
- 11月3日 帰居祭(八女・八女公園)
- 11月3日 旭座人形芝居本公演(黒木・笠原・旭座人形芝居会館)
- 11月第1日曜日 八女くろぎふるさと祭り(黒木・駅前)
- 11月上旬 もみじ祭り(矢部・八女津媛神社)
- 11月第2日曜日 八女星のまつり九州和太鼓フェスティバル(星野・平和の広場)
- 11月第2日曜日 八女上陽まつり全日本きんま選手権大会(上陽・春の山公園)
- 11月第3日曜日 奥八女黒木ハーフレマソン(黒木)
- 11月第3日曜日 八女矢部まつり(矢部・八女市矢部第1運動場)
- 11月第3日曜日 笠原まつり「だっでん祭」(黒木・笠原)
- 11月第3日曜日(5年毎) 八女津媛神社の浮立(矢部・八女津媛神社)
- 11月下旬 道の駅たちばな秋の大収穫祭(立花)
- 12月8日 田代の風流(黒木・田代)
- 12月中旬 八女市駅伝大会(立花)

交通アクセス



新幹線利用の場合

東京駅		約5時間	筑後船小屋駅 羽犬塚駅(在乗線乗り換え) 堀川バス 約20分	八女市
新大阪駅		約3時間		
博多駅		約30分		
熊本駅		約25分		
鹿児島中央駅		約1時間20分		

電車利用の場合

博多駅	JR鹿児島本線	約50分	羽犬塚駅	堀川バス	約20分	福島バス停
西鉄福岡駅	西鉄電車	約40分	久留米駅	西鉄バス	約40分	

車利用の場合



高速バス(福岡・熊本)利用の場合



車利用の場合(八女市役所~各支所)



レンタカー・タクシー 0943(八女局)

トヨタレンタカー八女店(八女)	八女市本村807-1	TEL 24-0100	
八女レンタカー(八女)	八女市龍ヶ原151-1	TEL 24-3315	
(株)のぶ観光(八女)	八女市龍ヶ原60-2	TEL 22-6002	
レンタカー八女龍ヶ原店	八女市龍ヶ原318	TEL 24-9811	
カトウレンタカー(黒木)	八女市黒木町本分1624-7	TEL 42-0426	
(有)日向神タクシー	47-2027(矢部)	(有)星野タクシー	52-2072(星野)
ニコニコやひめタクシー	23-0909(八女)	(有)川島タクシー	42-2124(黒木)
大丸タクシー	37-0045(八女・立花)		

※()書きは、営業所のあるエリアです(P21~23参照)

土日祝限定!!

堀川バス

1日乗り放題乗車券

- 対象路線 堀川バスの路線バス全線
- 対象者 全て(持参人式)
- 乗車券 大人1,000円/子供500円(その他割引なし)
- 通用日 土曜日、日曜日、祝日のみ
- 通用期間 1日限り
- 販売日 当日発行のみ
- 販売場所 バス車内(土曜日・祝日は福島・羽犬塚待合所でも販売)
- お問い合わせ 堀川バス(株) TEL 0943-23-6128

YameGuide
ハ女
ガイドマップ
guide map

凡例

- 観光ガイドマップで紹介されているところ
- 伝統的建造物群保存地区
- ④ 国道
- ④ 県道
- Wc トイレ
- 〒 郵便局
- P 駐車場
- バス停
- 学校
- 交番
- パワースポット

パワースポットとは…

神秘的な雰囲気のある場所でエネルギーが集中しているような場所のことです。このガイドブックでは、私たちに元気を与えてくれる八女市内の「パワースポット」を紹介しています。心と体をリフレッシュに来てください!!

